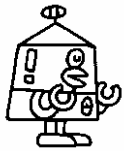


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

オオバコの花のつくりは、どうなっているの



オオバコは1本のくきの、上の方にめしべがあるめ花、下の
方におしべがあるお花がついていて、風が花粉を運ぶんだよ。

オオバコのむらさき色の花は、お花の花びら

オオバコは、下図のような、グランドや道ばたなどにはえている雑草です。

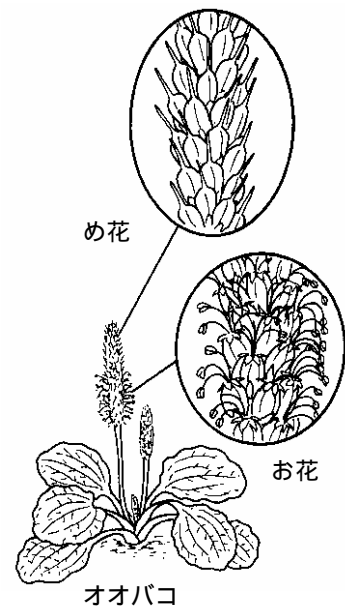
ほをよく観察していると、ほの上の方のつぶから、細いブラシのような毛が1本ずつのびてきて、やがて、ほの先の方から、かわいてかれてきます。そのころ、ほの下のあたりのつぶから、むらさき色の花びらと4本のおしべがのびてきます。風がふくと、おしべからきりのような花粉が広がって出ます。

ほの上の方のブラシのような毛は、花粉を受け取りやすい(受粉^{じゅふん}しやすい)形になっためしべだったのです。同じ株の花粉は、めしべがかれたころ出るので、別な株の花粉を受粉して、めしべのところにたねができます。

風が花粉を運ぶのが、ガマやトウモロコシとにている

オオバコの花と、受粉のしくみがにた植物に、トウモロコシやガマがあります。トウモロコシは、くきのてっぺんにあるほがおしべで、葉のつけ根のところの毛のふさが、めしべです。風がてっぺんのおしべから花粉を飛ばし、それを受粉した毛の1本ずつのもとのところがトウモロコシの実(たね)になります。花粉を飛ばす時期がめしべの成長の時期とずれているので、受粉するのは、別な株^{かぶ}の花粉になります。

川辺にはえているガマのほは、夏の終わりごろ、茶色のつつのようで目立ちます。ガマのほは、じつはめ花の集まりで、ほの上の方には、お花がついています。



もっと知りたい人へ：「トウモロコシの花って、あるの」も見てみよう。